

○9番（菊池伸也議員） 9番菊池伸也です。ただいま議長から発言のお許しをいただきましたので、通告に従って順次質問をいたします。

最初に、新たなまちづくりと地域コミュニティについて。

（１）の少子・高齢化と人口減少の進む中でのまちづくりについて、２点お伺いいたします。

本市では、第6次総合計画を基に、町の将来像として「幸せを感じ、暮らし続けたいと思うまち常陸太田～子育て上手その先へ、さらなる魅力の創造」を掲げ、まちづくりの理念として「市民のだれもが生涯活躍できるまちづくり」を掲げ、様々な事業を展開してきており、着実に成果を上げてきておりますが、少子・高齢化と人口減少のスピードは予想をはるかに上回っており、今般提示されました実施計画、令和3年度から令和5年度の3か年においては、主要な事業の拡充や新規事業が計画されており、その取組に期待をするものであります。また、第2期の総合戦略においても、第1期の総合戦略終了後に実施しました市民アンケートの調査結果を踏まえ、4点の基本目標を設定しており、その実現に向け、喫緊の課題としてその対応を迫られております。

そこで、①として、少子化、人口減少が進む中でのまちづくりの取り組み方についてお伺いいたします。

人口の将来展望では、常陸太田市人口ビジョンによる長期的展望として2060年に常住人口規模3万3,000人以上を目標にし、将来においても持続可能な人口構造の構築を目指しておりますが、少子・高齢化と急激な人口減少を勘案され、現在取り組まれている施策も含め、掲げられた将来像の理念に少しでも近付けるために、今後どのようなご努力をされ、目標値達成を成し遂げ、市民の望んでいるまちづくりを進められていくのかお伺いいたします。

次に、②として、地域コミュニティの進捗状況と今後の進め方についてお伺いいたします。

地域コミュニティの活動は、従来の公民館活動から地域の様々な問題まで取り組むことのできる制度であります。地域コミュニティ活動へと改革が始まって以来、時間が大幅に経過しておりますが、思うようには進んでいないのが現状かと思えます。

そこで、この事業の進捗状況及び今後の展望と進め方についても、併せてお聞かせ願います。

次に、道路整備と産業振興について。

（１）の道路改良工事について3点お伺いいたします。

最初に奥久慈グリーンライン武生線についてであります。この道路はスタートしてからかなりの時間が経過しております。この道路の沿線には振興公社の竜神ふるさと村や、あるいは日本里山100選に選ばれた持方集落などがあります。この道路が完成すれば、新たな事業としてサイクリングなど、あるいは竜神ふるさと村を拠点にした事業などが展開されることは間違いなさだろうと思えます。そういう思いを込めまして、武生線の進捗状況についてお伺いいたします。

次に、②の県道33号常陸太田大子線の狭隘箇所の改良工事についてであります。これは現在少しずつではありますが、竜神橋の架け替えやつり橋への入り口などについて、県のほうでやってくれております。しかしながら、天下野2区町会から桜沢橋までの間がセンターラインのない道路でありまして、かなり前から要望は出しております。会派の要望等にも上げていただいておりますけれども、なかなか進まないのが現状です。

改良工事についてと、③の県道36号線ですか、日立山方線の狭隘箇所の改良工事についてもお伺いしたいと思います。日立山方線の狭隘箇所というのは北消防署のあるところから東染地内ですか、それから東染を抜けたところですね、少しずつはやっていただいております。これも、ぜひともどういう考えでいるのかお伺いをいたします。

次に、産業振興についてお伺いします。

新型コロナの流行で、昨年からいろいろな産業において大変な影響を受けていると思います。茨城県独自の緊急事態宣言が今年1月18日から2月7日の実施期間で県内全域に発令されましたが、さらに、県独自の措置として2月8日から28日までに期間延長をしておりました。この措置も2月23日からは解除されております。観光産業のPRの集客においても従来とは違った方法で行う必要があると考えますが、どのようにお考えなのかお聞かせ願います。

そこで、①竜神大吊橋の周辺の観光客の入込状況と今後の対応についてお伺いいたします。

以上で1回目の質問を終わります。

○川又照雄議長 答弁を求めます。企画部長。

〔岡部光洋企画部長 登壇〕

○岡部光洋企画部長 少子化・人口減少が進む中ででのまちづくりの取組についてのご質問にお答えいたします。

本市におきましては、他自治体に先駆け少子化・人口減少対策に取り組んでまいりましたが、平成27年に本市の長期的展望といたしまして、2060年に常住人口3万6,000人を維持する人口ビジョンを策定し、第1期市少子化・人口減少対策アクションプラン及び市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、各種施策等を展開してまいりました。しかしながら、人口、出生数は減少を続けており、引き続き取組を進めるべく国・県の計画や新たな視点、市民の声や、第1期のアクションプラン及び総合戦略の課題を踏まえ、新たな人口ビジョンとして2060年の人口を3万3,000人維持に修正し、持続可能なまちとなるような人口構造の構築を目指し、第2期のアクションプラン及び総合戦略を、今年度からの5年間計画として策定をしたところでございます。

これらの計画の少子化・人口減少対策の施策等推進に当たっての評価、検証といたしましては、子育て世代の定住を促すためのファミリーユクじらヶ丘やじょうづるはうすの整備などによる子育て支援、また、認定こども園の設置、民間保育園の誘致などの保育環境整備については充実が図られたものと考えておりますが、仕事の場の創出、移住・定住促進と、交流人口・関係人口の創出と、結婚・出産への支援についてはさらなる推進が必要と考え、これらに重点を置くこととし、計画の基本的な考え方といたしまして、少子化・人口減少の進行を緩やかにするとともに、持続可能で活力のある地域社会の構築に向けた取組を推進することとしており、第2期の総合戦略におきましては、4つの基本目標を掲げ推進を図るものとしてございます。

まず、1点目といたしまして、稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにするを目標とし、東部地区開発促進、起業・創業・就業の支援、農業の生産力・販売力向上と新規就農者の支援などの施策、事業の推進をしてまいります。

2点目といたしまして、本市とのつながりを築き、本市への新しい人の流れをつくるを目標とし、新婚家庭家賃助成、住宅取得等助成事業などの助成事業による移住・定住の促進、観光施設等を活用した交流人口、関係人口の拡大を図る施策事業の推進でございます。これまでの定住人口の拡大におきましては、U I Jターンの促進、子育て住宅及び支援施設整備、地域に応じた居住環境の整備の3点に焦点を当てた施策を展開し、市内各地域への定住促進を進めるため、空き家・空き地を有効活用する空き家・空き地バンク制度の充実、Uターンを促すための住宅取得促進助成事業に親との同居・近居加算などの施策に加え、本年度よりワーケーション事業の取組を新たに実施することとしておりまして、効果的な施策を展開してまいりたいと考えております。

3点目といたしましては、若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえるを目標とし、結婚推進事業、妊娠・出産に伴う経済的支援、安心して子育てできる環境づくりに関する施策事業の推進を図ることとしておりまして、結婚推進におきましては、本年度、オンライン婚活を実施しているところでございます。

4点目では、ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくるを目標とし、防犯、交通対策、東部地区開発などによる買物環境の充実を図る施策事業を推進することとしてございます。本市におけます26年までの長期的展望としての人口ビジョン3万3,000人維持の目標に向け、第2期のアクションプラン及び総合戦略を、本市におけます少子化・人口減少対策への推進計画といたしまして、引き続き全庁的な取組として各施策事業を着実に進め、誰もが活躍でき、魅力的で安心して暮らせる持続可能なまちづくりを進めてまいります。

○川又照雄議長 市民生活部長。

〔鈴木淳市民生活部長 登壇〕

○鈴木淳市民生活部長 新たなまちづくりと地域コミュニティについてのご質問のうち、2点目の地域コミュニティの進捗状況と今後の進め方についてのご質問にお答えいたします。

地域コミュニティにつきましては、先ほど菊池勝美議員のご質問の際にも答弁させていただきましたとおり、事業の推進を図っているところでございますが、現在の進捗状況につきましては、モデル地区として設立した久米、高倉、賀美、小里地区の4地区に加え、平成30年度には天下野地区と金郷地区、令和元年度に染和田地区、昨年6月には山田地区が設立されまして、現在、市内19地区のうち8地区に設立されたところでございます。しかしながら、旧常陸太田地区ではまだまだ活発に活動できる環境にある町会が多いため、新たな地域コミュニティの組織化への理解がなかなか得られず、協議が進まない現状でもございます。

そのような中、太田地区につきましては一昨年5月に設立準備会が設置され、各団体等によるコミュニティ設立に向けた協議が進められている他、郡戸地区や金砂地区におきましても町会長等に準備会の設置に向けた相談を行っているところでございます。現在は、コロナ禍の影響により大勢の人を集めての会合等が開催できないなど、各地区とも団体説明会や設立準備会等が中断している状況ではございます。

今後の進め方につきましては、新型コロナウイルス感染症の流行状況を見据えながら、設立準備会が設置されている太田地区の早期設立に向けた協議を進めていくとともに、その他の地区に

つきましても地域住民の合意形成が最も重要でありますことから、今まで同様、丁寧な説明を行い、合意が図られたところから設立を進めてまいりたいと考えております。

○川又照雄議長 農政部長。

〔根本勝則農政部長 登壇〕

○根本勝則農政部長 道路改良工事のうち、奥久慈グリーンライン武生線の進捗状況についてのご質問にお答えいたします。

奥久慈グリーンライン林道は、常陸太田市、常陸大宮市、太子町における森林林業の活性化や生活環境基盤の充実、観光振興などを目的に、平成7年度から県が整備を進めており、本市に係る路線といたしましては、平成29年6月に水府の持方地区から太子町の水根地区を結ぶ水根持方線、延長6,911メートルが竣工し、供用開始となったところでございます。

ご質問の武生線につきましては、水府の持方地区から県道常陸太田太子線の下高倉町地内までの全体計画延長1万480メートルで、平成11年度から工事に着手し、令和3年2月時点で9,128.5メートルが完了しており、令和5年度末の完成を目指し、旧武生線の南端から県道に至る残りの1,351.5メートルについて現在工事を進めているところでございます。この残りの区間につきましては、地形は急峻で地盤は強固な岩盤であることから、工事の遅れが見込まれたために、早期完成を目指し、新たに施工区間の中間部に至る作業道を整備しまして、始点側、中間部、終点側の3工区で同時に工事を進めることで、工事期間の短縮を図っているところでございます。

奥久慈グリーンライン林道は、森林整備の推進に加え、竜神大吊橋や袋田の滝などの周遊観光を促進するルートとして、また、新緑や紅葉シーズン等において、竜神ふるさと村などの観光施設への誘客などに寄与する道路としての期待も大きく、重要な林道でございますので、引き続き計画どおりの完成に向け、県に要望してまいります。

○川又照雄議長 建設部長。

〔古内宏建設部長 登壇〕

○古内宏建設部長 道路改良工事についての2点目、県道33号線の狭隘箇所改良工事についてのご質問にお答えいたします。

県道33号線常陸太田太子線は、1点目の奥久慈グリーンラインへとつながる道路であり、先ほど農政部長の答弁にもありましたが、竜神大吊橋や太子町への観光ルートと位置付けられており、地域の観光振興にも資する道路で、県の緊急輸送道路に指定されております。

これまでに、県常陸太田工事事務所により、天下野町地内において道路改良舗装工事や橋梁架け替え工事など、計画的に整備を進めていただいているところでございます。現在も竜神ダム入り口の南側、竜神橋の架け替え工事が完了し、旧橋の撤去工事を実施しております。あわせて、竜神大吊橋入り口の北側からの右折レーン及び南側からの左折レーン増設のための調査、設計を実施していただいております。

ご質問にございます天下野町2区の桜沢橋付近の区間につきましては、竜神大吊橋入り口部分が完了してから事業化の検討を行う旨、県から伺っており、市としましては引き続き、ご質問い

ただいた区間につきまして、早急に整備を進めていただけるよう県に要望してまいります。

次に、3点目の県道36号線日立山方線の狭隘箇所改良工事についてでございます。

県道36号線は、里美地区の上深荻町と水府地区の中染町につながる幹線道路であり、県北部を東西に横断する肋骨道路として位置付けられ、この道路も県の緊急輸送道路として指定されているところでございます。

これまでに、県により東染町や中染町地内におきまして、狭隘区間や視距が確保できない箇所の解消のため、道路改良舗装工事や河川の付け替え工事など、計画的に整備を進めていただいているところでございます。しかしながら、まだ東染町から中染町地内には複数の狭隘箇所があり、通行の支障となっている箇所がございますので、市としても引き続き狭隘箇所の解消のため、整備を進めていただきますよう県に要望してまいります。

○川又照雄議長 商工観光部長。

〔小瀧孝男商工観光部長 登壇〕

○小瀧孝男商工観光部長 商工観光部関係の竜神大吊橋周辺の観光客入込み状況と、今後の対応についてのご質問にお答えいたします。

初めに、竜神大吊橋、竜神ふるさと村、竜の里公園、竜っちゃん乃湯、竜神カフェ、竜神ダム湖でのカヌー等への入込状況でございますが、本年度における当該施設は、国や県の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言等によりまして、施設を複数回閉館するなど利用の休止をしております。施設によって利用休止をした期間が異なり、竜神大吊橋が55日間、竜っちゃん乃湯が113日間、竜神ふるさと村と竜の里公園が68日間、竜神カフェが74日間、竜神カヌーが34日間、事業の休止をしております。

このようなことから、過去の入込状況と単純な比較はできませんが、2月末現在の今年度の竜神大吊橋周辺全体の入込客数を申し上げますと14万3,830人で、昨年度の同期間で比較しますと58%の入込みとなっております。

また、参考までに各施設の今年度を含めた過去3年間の入込客数を申し上げますと、竜神大吊橋の渡橋者数は、平成30年度24万9,723人、令和元年度22万4,707人、令和2年度につきましては年度途中となりますが、2末日現在で13万3,369人となっております。同様に竜神ふるさと村の入込客数は、平成30年度3,423人、令和元年度2,568人、令和2年度6,466人。同様に竜の里公園は、平成30年度2,556人、令和元年度2,782人、令和2年度1,644人。同様に竜っちゃん乃湯は、平成30年度2万6,408人、令和元年度2万3,837人、令和2年度5,935人。同様に竜神カフェは、平成30年度3,677人、令和元年度2,384人、令和2年度1,856人の利用がございました。また、竜神ダム湖を利用したカヌー、サップ、ボートの体験者数ですが、平成30年度922人、令和元年度721人、令和2年度380人の利用となっております。

次に、今後の対応でございますが、開館しております各施設につきましては、引き続き各施設の従業員及び利用者の手指消毒、検温、マスクの着用、施設内の換気、社会的距離を保つなど、国、県、業界団体等が作成するガイドラインを遵守しまして、感染拡大防止対策を講じまして、

利用者が安全・安心に施設を利用できるよう努めてまいります。

また、誘客に向けたPR等につきましては、コロナ禍の中においてもキャンプやハイキング、サイクリングなどのアウトドア需要が増えてきており、本市でもキャンプが楽しめる竜の里公園や竜神ふるさと村、亀ヶ淵周辺のハイキングや奥久慈グリーンラインでのサイクリングなど、アウトドアが楽しめる環境について、市ホームページや市観光物産協会ホームページ、SNS等を使ったPRを図ってまいりたいと考えております。

なお、県独自の緊急事態宣言が2月23日から解除となりましたが、まだ1都3県では国の緊急事態宣言が発令されている状況でございます。市としましては、新型コロナウイルスの感染状況や国、県の動向を注視するとともに、当面の間は県民を対象とした誘客に取り組んでまいりたいと考えております。

○川又照雄議長 菊池伸也議員。

〔9番 菊池伸也議員 質問者席へ〕

○9番（菊池伸也議員） 2回目の質問に入らせていただきます。ただいまは大変丁寧なご答弁をありがとうございます。2回目は、1点を除き要望のみにしたいと思っております。

①の少子化・人口減少が進む中でのまちづくりについては、第2期の総合戦略において4つの基本目標を掲げ、施策実現に向けて全庁的な取組を実施していくということについては理解をいたしました。各指標の目標値をしっかりとクリアされるような取組を要望しておきます。

その中で、基本目標の3点目の事業で結婚推進事業がありますが、本年度からオンライン婚活事業を実施しているとの答弁がありました。参考までに、その事業の内容と手応えは現在どのような状況であるのかお聞かせ願います。

○川又照雄議長 企画部長。

○岡部光洋企画部長 ただいまのオンライン婚活についてのご質問にお答えいたします。

今年度の結婚推進事業におきましては、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、当初予定しておりました事業からオンラインを活用した事業に変更して実施をしております。自宅等からスマートフォンやパソコンにより画面越しに婚活イベントに参加をいただき、昨年8月、10月、12月、今年に入りまして1月の4回を実施しております。今後実施予定の3月13日を含め計5回の実施となっております。

イベントの内容につきましては、婚活に係るセミナー、1対1のトークタイムを設け、最後にマッチングを行い、全体で2時間程度のイベントとなっております。昨年8月に実施したイベントにおきましては男性6名、女性4名の参加がありまして、2組のカップルが成立してございます。10月実施のイベントにおきましては男性5名、女性3名の参加の中で3組のカップルが成立してございます。12月のイベントにおきましては男性4名、女性3名の参加がございまして、2組のカップルが成立をしております。今年1月のイベントでは男性5名、女性3名の参加がございまして、2組のカップルが成立しているところでございます。

参加人数につきましては、1対1のトークタイムを十分に確保する観点から、男女各5名から6名の参加が適しているものと考えてございます。参加者からイベントについておおむね満足の

回答をいただいておりますが、募集対象者の年齢、年代、開催時間等についての課題も見えてきてございますので、課題等について分析を行いまして、より効果的で参加しやすいイベントとなるよう進めてまいりたいと存じます。

○川又照雄議長 菊池伸也議員。

○9番（菊池伸也議員） ありがとうございます。ぜひ、これからますます結婚推進事業が円滑に進むことを期待して、次の、②の地域コミュニティの進捗状況と今後の進め方については理解をいたしました。ぜひ、じっくり時間をかけても、全ての地域において構築できるように要望しておきます。

次に、道路改良についてであります。奥久慈グリーンライン武生線の進捗状況については理解をいたしました。まだまだ時間がかかるということでもありますけれども、これができることによって地域の観光事業、あるいは林業の活性化につながると思いますので、よろしく願います。

2番目の、②の県道33号線常陸太田大子線であります。その後の3番目の県道36号線日立山方線については、少しずつではありますが、今後ともその事業をしていただきますように要望しておきます。

次に、2番目の観光振興についての竜神大吊橋の入込状況と今後の対応については、詳細なデータを示していただいております。ありがとうございます。コロナ禍の中ではありますが、引き続き今後のご努力をよろしく願っていただきまして、私の一般質問を終わらせていただきます。